

富士川町

第46号

令和3年(2021年)10月25日発行



議会だより

秋空に舞う よさこいの大旗

～10月3日 道の駅富士川のイベントから～



9月の定例会

- このような事業が行われました… 2 P
- 定例会で決まったこと…………… 6 P
- 7人が町の課題を問う…………… 9 P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



れました

会期で開催し、各会計の決算を認定した。

を認定

歳出総額

111億7127万円

(前年度より22.9%増)

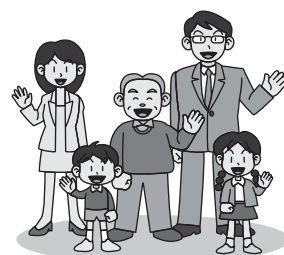
新型コロナウイルス感染症緊急
対策により大幅増額

◆ 富士川いきいきスポーツ公園 駐車場整備工事



5978万円

- 生涯スポーツの場を整備、全ての完成までは数年かかるが、2年度は駐車場の整備を行った。



◆ 校内通信システム整備 工事、ICT機器購入

704万円



- GIGAスクール構想に伴い、情報機器の活用を通じた学習環境の整備を行った。

◆ 富士川地方合同庁舎建設事業

5060万円

- 国が建設する合同庁舎に町民図書館を合築するための負担金



◆ リニア高下工事用道路 整備工事

1億6616万円

- JR東海と施工委託協定を締結している高下地内の工事用道路を完成させた。



◆ 利根川公園テニスコート 夜間照明設備LED化工事

1093万円



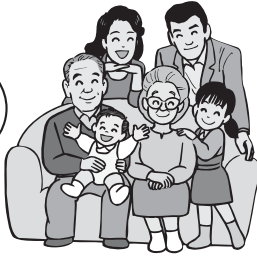
- スポーツ振興くじを活用し、夜間照明機器のLED化を行った。

このような事業が行わ

令和3年第3回定例会を9月10日から27日までの18日間の

令和2年度決算

議会の
注目点!



3 財政を見る 3つのポイント

1

財政力指数 0.36

昨年度から ±0

予算のうち、どれくらい自前の
税収で賄えているかを表しま
す。この指数が高いほど財政
力が強いことを示しています。

2

実質公債費比率 12.3%

昨年度から 0.2% 増

一般会計が負担する借金返
済費用の割合。数値が高い
ほどほかの事業にあてる財源
を圧迫することになります。

3

将来負担比率 55.3%

昨年度から 2.7% 減

借入金など将来支払わなけれ
ばならない負債が、1年間の
収入に対してどれくらいある
のかを判断する基準。この割
合が350%を超えないように
する必要があります。

◆ 旧増穂西小学校解体工事



2378万円

- 農業体験宿泊施設整備
のため、旧校舎を解体
した。

◆ ますほ文化ホールマルチエアコン更新及び トイレ改修工事

1999万円

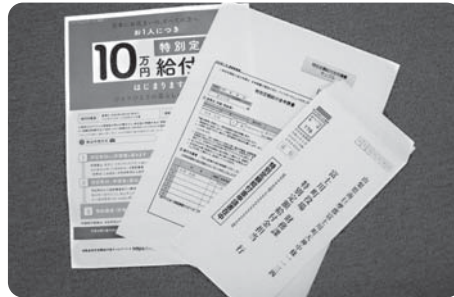
- 新型コロナウイルス感
染症対策としてエアコ
ンの改修、トイレの洋
式化を行った。



◆ 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業

14億8270万円

- 特別定額給付金給付事
業で町民一人当たり10
万円の支給を行った。



◆ 元気応援券事業

1億5324万円

- 新型コロナウイルス感
染症が町内消費に与える影
響を緩和するため、町内
店舗で使用できる1万円
の商品券を配布した。



決算特別委員会レポート

今定例会で特別委員会を設置し、9月10日の本会議で当委員会に付託された議案を、9月15日、16日に分科会、22日に全体会を開き、慎重な審議を行った。

ひびくり分科会

【子育て支援課】

問 代替保育士・代替調理員の報酬は。

答 保育士・調理員が不足しており、必要な時にお願している。時給は、代替保育士が951円で、代替調理員は897円である。

問 病後児保育利用事業費支出内容は。

答 令和2年度は、コロナの影響もあり、利用者がなかったが、利用希望がある時に、すぐに対応するため必要経費である。

【政策秘書課】

問 婚活事業の内容と成果は。

答 山梨婚活コミュニティに年間6万円で委託し、「お見合いセッティング無料キャンペーン」を実施。出会いの場を提供する事業であり、後追い調査などは行っていない。

問 「コロナに負けるな元氣応援券」の活用状況は。

答 町外資本の大型店やコ

ンビニでの活用が多かったが、町内飲食店や専門店、小売店での活用もあり、統計結果から、町民の動きや買い物状況などが把握でき、今後の商工業施策に生かしていきたい。

問 中山間地域などにおける住宅地取得費補助金640万円の使途は。

答 駅前通山王地区に住宅用地を取得した8世帯への補助金である。

【福祉保健課】

問 ひきこもりサポーター養成研修の内容と参加者は。

答 30名程度の参加希望があった。講師を依頼して講演などを撮影し、DVDにして配布、研修を行った。

問 新型コロナウイルスワクチン事業の報酬は。

答 コールセンターの会計年度任用職員2名に対する令和3年3月分の報酬であり、4月以降も継続して配置している。

【生涯学習課】

問 石橋湛山略年譜作成の委託内容は。

答 石橋湛山の略歴や業績、昌福寺在住時のエピソードなどを紹介する看板4枚を作成委託した。民俗資料館内に常時展示する予定である。

問 利根川公園テニスコート照明工事費1093万円と高額なのは。

答 32基の投光器すべてをLED化したことにより費用は高額となったが、30年程度は取り替えないで済む。経費の半分はスポーツ振興くじからの補助金を充てている。

【教育総務課】

問 家庭学習用WiFiモバイルルーター61台分、121万円の支出があるが、通信費はどうしていくか。

答 不公平にならないように、利用者負担を検討している。

【町民生活課】

問 指定ゴミ袋購入費につ

いて、小袋・大袋の需要や数量、大きさ、品質などが適正か。

答 小袋も需要がある。大袋が小さいとの指摘もあるが、来年度に向けて検討中である。入札で発注業者を決定しているが、発注量や品質によって単価が違ってくる。



来年度に向け規格が検討されているゴミ袋

問 国民健康保険特別会計の財政調整基金5千万円の計上は適切か。

答 医療費の著しい支出増加など不測の事態に備えて、先を見据えて積み立てていく必要がある。他市町村と比較しても多い金額ではない。

まちづくり分科会

【産業振興課】

問 かじかの湯、備品購入48万円の宴会用テーブルはコロナ禍で必要か。

答 3年計画で大広間へ椅子・テーブルの購入を進める。



かじかの湯に設置されたテーブルセット

問 ふるさと納税の大口は。

答 返礼無しで400万円である。

問 農業次世代人材投資事業の実績と確認方法は。

答 1人150万円と夫婦225万円の2件である。

事業確認は、年2回ヒアリングを実施している。

【土木整備課】

問 大久保地内用水路スクリーン設置工事の内容は。

答 落ち葉などの詰まり防止網の設置費である。

問 応急災害復旧費の修繕料、平林地内倒木伐採費の内容は。

答 個人地内の倒木である。道路管理上緊急性を要し、町が対応した。

問 リニア側道の補償算定業務は1件ごとに契約しているが、一括入札が良いのでは。

答 リニア本線の買収に併せ個々に補償算定している。

【上下水道課】

問 下水道ストックマネジメント委託とは。

答 長寿命化のための方針計画作成業務委託である。

問 水質の硬度除去装置は

1箇所か。

答 鰻沢地区の大法師浄水場1箇所である。

【都市整備課】

問 利根川公園内スポーツ広場のJR移設補償金5743万円は。

答 工事ごとに面積等に応じた移設補償額である。

問 ブロック塀の撤去改修費補償金6件の他に申請は。

答 申請と交付件数は同数である。

問 戸建ての未使用住宅がある。今後の対策は。

問 戸建て住宅は解体、集合住宅は長寿命化する計画である。

【防災交通課】

問 コミュニティバスの運

行は、主に青洲高校の通学であるが市川三郷町民も利用する。応分の負担交渉は。

答 検討する。

問 交通関連修繕料の実績が予算より少ないが、道路の白線修繕は。

答 カーブミラーなどが主で白線などはしていない。

【管財課】

問 新庁舎建設関連の民家2軒の買収前払い金割合は。

答 前払い7割、撤去完了時3割である。

問 サーマルカメラの購入単価が違うが、要因は。

答 施設にあつた仕様の購入であるため、差が出ている。



庁舎に設置されたサーマルカメラ

監査委員の決算審査意見 (抜粋)

● 決算書・明細書等は、関係法令に準拠して作成されており、決算係数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

● 令和2年度富士川町決算は、一般会計・特別会計の合計で、歳入164億764万円、歳出157億6082万円となり、形式収支額は6億4681万円となった。また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は5億8676万円となり、単年度収支額1億218万円のマイナス、実質単年度収支額は2億856万円の赤字となった。

● 本町においては、7つの大規模事業の内、2つの事業が完成し、残りの事業が計画・進行中である。人口減少や少子高齢化等の動向を十分に見極め、将来想定されるインフラ資産の更新費用等も十分に考慮した綿密な財政計画が必要と思想する。

代表監査委員 山下博良
監査委員 井上光三

9月定例会 で決まったこと

令和3年度の補正予算、条例制定・改正及び2年度決算など24案件を審議し、原案のとおり可決認定した。

一般会計補正予算額
一般会計補正後の予算総額

1億8609万円
102億5742万円

おもな一般会計補正予算

・訪問看護ステーション解体工事	985万円
・鰯沢口駅駐輪場設置工事費	370万円
・大法師公園平和の塔改修工事	267万円
・大法師公園階段手摺改修工事	460万円
・医療機関接種業務 <small>(新型コロナウイルスワクチン接種事業費)</small>	8086万円
・観光関連施設(まほらの湯)指定管理料	190万円
・かじかの湯事業特別会計繰出金	1471万円
・町道上手北川線横断側溝設置工事	200万円
・統合中学校改修工事設計業務	1815万円



駐輪場の早期設置が望まれる
鰯沢口駅前の現状

おもな質疑

報告案件

- 問** 児童生徒へのタブレット配布への管理状況は。
- 答** 動画や問題サイトにつながらないようにセキュリティ設定をしている。活用チェックはしていない。
- 問** 学校避難所運営マニュアルについての地域住民との共通理解は。
- 答** 保護者との理解は図られているが、地域住民への浸透については報告されていない。

補正予算案件

- 問** 健診結果活用情報標準化整備事業の内容は。
- 答** マイナンバーを使って、自分の健診情報を活用するため町の健康管理システムを改修する事業である。
- 問** 農林水産債が270万円減額になったのは。
- 答** 県が実施の経営体育整備事業の減額に伴い、町の負担金が減額となり、財源である農道整備事業債を減額した。
- 問** 大法師公園内の平和の塔改修工事費267万円の内容は。
- 答** 外部の足場などの架設工事、外壁・鳩のオブジェなどの塗装工事、諸経費などである。

- 問** まほらの湯の累積赤字解消と経営改善のための指定管理料の見直しは。
- 答** もともと指定管理料なしでスタートした施設だが、近隣の入浴施設の指定管理料は、3千万、4千万払っているところもある。今回も昨年同様の計算方法で算出した。現状だと指定管理の撤退も考えられ、その際には町の直営にするか廃止するしかない。直営だと町の負担は大きくなる。営業努力もしてもらいながら検討していきたい。

過疎地域持続的発展計画策定案件

- 問** 長期的な計画に基づき、適切な予算執行を行うとは。
- 答** 令和3年から7年までの5か年の計画である。それぞれの発展計画事業についていつ実施するかを十分検討して、長期的な予算執行に努めるということである。
- 問** シビックコア地域と商店街との連携した賑わいの場形成とは。
- 答** 来年11月の国の合同庁舎稼働により、地域が発達するチャンスと捉え、商店街の活性化事業などを進めていきたい。

条例制定1件・条例改正7件が提案され可決した

条例制定

- 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う富士川町過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例制定

条例改正

- 固定資産評価審査委員会条例の一部改正
 - ・押印を求める手続の見直し等のための総務省関係政令の一部を改正する政令の施行に伴う行政不服審査法施行令の一部改正に伴う改正。
- 手数料条例の一部改正
 - ・デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正。

● 町有住宅管理条例の一部を改正

- ・法人等に公募によらず町有住宅の貸出を行うことにより、町有住宅の空き家の解消及び家賃収入の増加を図るための改正。

● 過疎地域自立促進基金条例の一部改正

● 家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例の一部改正

● 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

● 議会基本条例の一部改正

第3回 臨時会

8月31日第3回臨時会を開催し、契約締結案8件を審議し、原案のとおり可決した。

◆ 契約締結 ◆

- 富士川いきいきスポーツ公園照明設置工事請負契約
 - ・契約金額 8580万円
 - ・契約の相手 株式会社 伸電工業
- 農業体験宿泊交流施設建設工事請負契約
 - ・契約金額 7755万円
 - ・契約の相手 有限会社 深沢建設
- 道の駅富士川農産物加工所増築他改修工事（建築主体）請負契約
 - ・契約金額 1億7853万円
 - ・契約の相手 日経工業・昭和建設工業道の駅富士川農産物加工所増築他改修工事（建築主体）共同企業体
- 道の駅富士川農産物加工所厨房機器購入契約
 - ・契約金額 4000万1500円
 - ・契約の相手 株式会社 日新厨房企画

● 道の駅富士川農産物加工販売施設厨房機器購入契約

- ・契約金額 3937万1200円
- ・契約の相手 株式会社 不二商会

● 新庁舎建設建築主体工事請負契約

- ・契約金額 13億4508万円
- ・契約の相手 早野組・ゼロ・植野興業富士川町新庁舎建設工事（建築主体）共同企業体

● 新庁舎建設電気設備工事請負契約

- ・契約金額 3億8720万円
- ・契約の相手 伸電工業・五光電工・大成電気富士川町新庁舎建設工事（電気設備）共同企業体

● 新庁舎建設機械設備工事請負契約

- ・契約金額 3億5860万円
- ・契約の相手 雨宮工業・渡辺工業所・梶本管工富士川町新庁舎建設工事（機械設備）共同企業体

樋口正訓議員ご逝去

樋口正訓議員におかれましては、7月15日ご逝去されました。
議員一同、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

議会改革特別委員会

議員定数 1名削減を決定

議会改革特別委員会は、議員定数のあり方について議論を重ねてきたが、9月27日の特別委員会において、次の改選時から1名削減の13名定数とすることを決定した。

12月定例会に関係条例の改正案を上程予定。

討論要旨

現状維持(14名)意見

- ・議員が減ることは多様な意見が反映されなくなる。
- ・改選ごとに定数を削減するのは適切でない。
- ・委員会の人数が少ないと綿密な審査ができない。

1名削減(13名)意見

- ・経費削減となり、行財政改革が推進される。
- ・奇数にすることにより議長の権能を明確にできる。
- ・常任委員会の均衡が保たれ、委員長の権限も公正になる。

採決結果 (委員長を除く)

●現状維持賛成 4名

秋山 仁、笹本壽彦、成田 守、青柳光仁

●1名削減賛成 7名

井上和男、望月 眞、秋山 稔、小林有紀子、堀内春美、鮫田洋平、長澤 健

新たな中学校整備等検討特別委員会

増穂商業高校を視察

新たな中学校整備等検討特別委員会は、9月22日新中学校の設置場所となる増穂商業高校を視察した。

校舎は全て耐震化してあるものの、老朽化もしているため、議会では中学生が不便を感じないような改修の実施や、将来的な新校舎の建て替えなど提言していくこととした。



組 合 議 会 報 告

令和2年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	5572万円	462万円
ゴミ処理事業	15億5841万円	9036万円
地区公園事業	916万円	81万円
老人福祉事業	3064万円	258万円
勤労青年事業	4763万円	403万円
し尿処理事業	2億4174万円	0万円
合計	19億4330万円	1億240万円

中巨摩地区広域事務組合

10月4日、中巨摩地区広域事務組合議会定例会が開催され、令和3年度補正予算、2年度決算認定が上程され原案のとおり可決同意した。

峡南医療センター企業団

8月27日、峡南医療センター企業団議会第2回定例会が開催され、令和2年度峡南医療センター企業団会計決算を原案のとおり認定した。

当期純利益は前年度より1億1000万円と大幅な増となった。新型コロナウイルス感染症対策により、例年がない業務に翻弄された。富士川病院においては、「重点医療機関」として、コロナ患者の受け入れなどに努めた。

令和2年度決算

営業収益	38億7589万円
営業費用	44億4467万円
営業損失	△5億6877万円
営業外収益	10億9967万円
営業外費用	1億9845万円
経常利益	3億3245万円
当期純利益	3億3245万円

問 ヤングケアラーの実態と対策は

答 協議会を活用し対応



堀内春美 議員

問 家族の介護、世話を担う子どもが年齢や成長に見合わない責任を負い、進学や就職をあきらめるケースもある。支援体制の構築が求められている。本町でのヤングケアラーの実態をどの程度把握しているか。

子育て支援課長 現在町は医療、福祉、介護、教育機関が連携し問題を抱える子どもへの早期発見、各関係機関の連携による支援と、情報共有を目的とした要保護児童対策地域協議会を設置し、会の機能を活用し小中学校と常に連携し、支援が必要な家庭や子どもの把握に努めているが、現在ヤングケアラーに関する相談や情報は寄せられていない。

問 個人情報ということもあり、把握することが難しい。表に出ていないからこの町には対象家庭が無いと判断するのは危険である。早期発見のために、民生児童委員、学校カウンセラー、担任との話し合いの場を設けることも大事であるが対策は。

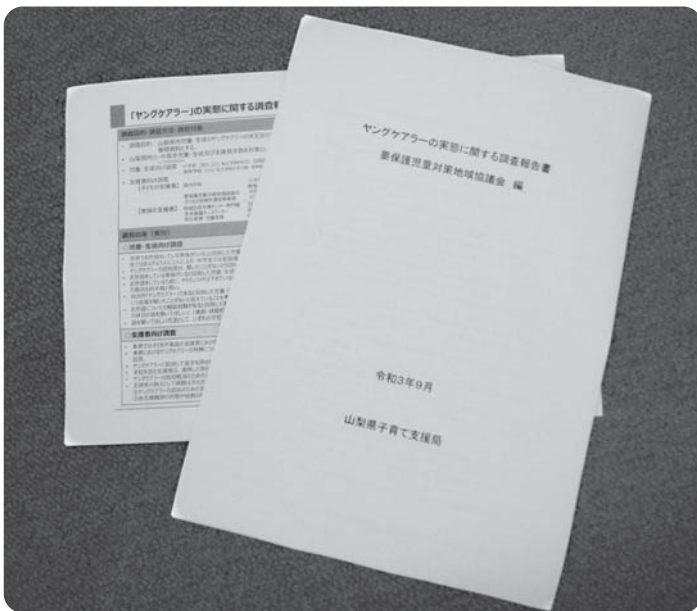
子育て支援課長 要保護児童対策地域協議会が設置されている。そういうケースが起きた時、会議を開ける環境が整っているので会議を通じて対策を行っていく。

問 精神面、経済面での援助はどのように考えているか。

子育て支援課長 子どもの精神的負担の解消には、日常的に家事や家庭の世話を行っている状態を改善し、子どもが希望を持って成長できる環境を整える支援が必要である。問題を持つている子どもの早期発見・早期支援のため、地域住民にヤングケアラーの認識の促進を図り、町への情報提供につながるよう啓発していく。また、福祉サービスの利用につなげ、支援を行っていく。

問 財政面についての対応は。子育て支援課長 子どもの労働を家計の支えとしている家庭があった場合は、給付金などの一時的な支援ではなく、長期的で包括的な支援が必要と考える。個々の家庭の状況

に応じて生活扶助等を含めた支援と包括的な福祉サービスの利用を検討すべきと考えているため、現在のところヤングケアラーに特化した金銭的な給付制度の創設は考えていない。



ヤングケアラーの実態に関する調査報告書 (山梨県)





井上和男議員

行政デジタル化への取り組みは

公式LINEの登録者 5500人

問 行政のデジタル化で自治体職員の働き方改革、行政運営の効率化への取り組みは。

政策秘書課長 行政デジタル化とは、これまでアナログ、紙を前提としてきた行政手続きから、デジタルデータを前提とした行政手続きへ移行していくこととされている。行政手続きのオンライン化が目されているが、バックオフィス（後方支援）を含めた一連の業務プロセスをデジタル化することである。町では本年度からA-I-O-C-R（人工知能、光学式文字読取）、RPA（仮想的労働者）を導入し、業務の効率化に取り組んでいる。既に保育所入所、ふるさと納税、報酬等振込処理の業務でA-I-O-C-R・RPAを活用しており、これまでの作業時間に比べ、大幅に短縮され、業務の効率化につながっている。

問 行政デジタル化で住民サービスの充実への取り組みは。

政策秘書課長 町ではさまざま

まな分野においてデジタル化を推進し、住民サービスの向上に努めている。社会体育施設の予約、児童手当、保育所入所、介護保険などの電子申請が、個人のパソコンやスマートフォンから申請できるシステムを導入してきた。また、子育ての悩みを解消する電子母子手帳アプリ「ふじすく」は、本町独自のデジタル化として推進している。

問 町からの情報はホームページに掲載され、情報を自

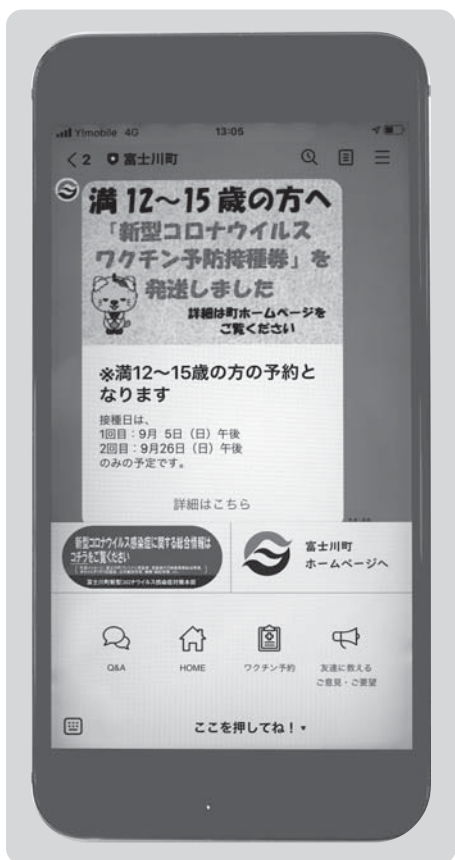
ら拾いに行かなくては見るこ
とができないが、町の公式
LINEは友達登録を行うだ
けで、登録者に確実に情報を
配信することができる。公式
LINEへの登録者増加に向
けた取り組みは。

政策秘書課長 昨年6月に運用を開始し、LINEを用いた新型コロナウイルスの接種予約システムを導入したことで、登録者が5500人に達した。住民の皆さまが必要とする情報を把握し、町と住民の皆さまをつなぐ情報発信手

段として、SNSの特性を活かし、旬な話題の提供や、読みやすさの工夫を行うことで、登録者の増加を図りたい。

問 発信元が3課のみだが、発信元を増やしていく検討は。

政策秘書課長 担当ごとに発信ができるような操作や作業方法を伝達して、SNSの特性を生かした情報発信手段として、活用の拡大を図っていく。



SNSを活用した情報発信に期待



秋山 稔 議員

問 マンホールトイレの保守は

答 保守点検は実施していない

問 マンホールトイレ6箇所30基の保守・点検は。

防災交通課長 児童センターは設置訓練を実施しているが、その他においては保守・点検を実施していない状況である。

問 トイレの鉄蓋は重量があり、2人以上でないと開閉は無理である。災害時の対処は。

防災交通課長 使用時に開閉する作業は設置してある施設管理者や、避難している避難者に依頼したい。

問 TKグラウンドの設置型は、何日間使用すると業者に清掃の依頼をするのか。

防災交通課長 1基あたり1日100人の使用人数で、概ね6日間で満杯になると想定し、清掃を依頼することになる。

問 設営する役割分担などの設置基準が必要である。作業手順の作成は。

防災交通課長 設置方法や組み立て方法などを記載した作業手順マニュアルを作成し、

各施設での利用を考えている。

問 設営するテントの保管や安全面などの環境確保は。

防災交通課長 備蓄場所のない所は防災倉庫から出庫し使用する。安全面について、テントは施錠できるが照明設備は無い。今後は順次各施設の備蓄を進め、トイレ環境の確保を図っていく。

問 設営テントは6箇所の近くに保管すべきでは。

防災交通課長 4箇所は現在施設内に保管してある。2箇所については今後検討する。

問 防災上において、6箇所のマンホールトイレにも高齢者・要配慮者に配慮した準備は。

防災交通課長 災害用トイレには要配慮者に配慮した設備は備蓄していない。

問 今後、要配慮者へ配慮した計画は。

防災交通課長 車椅子にも対応した災害用トイレなど、要配慮者に配慮した設備の備蓄を計画していきたい。

問 一部は段差があり、車椅子は使用時不便である。見直しは。

防災交通課長 応急的なスロップなどの設置で対応する。

問 設置場所を町民に周知し協力を要請できないか。

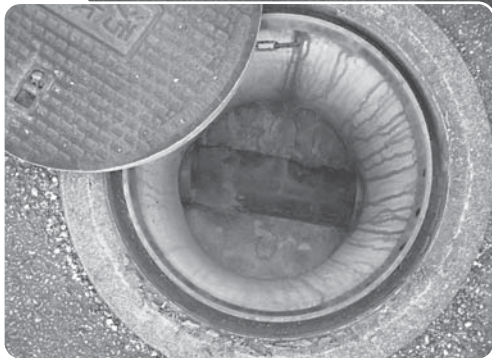
防災交通課長 協力を得た場合開閉の訓練を実施したい。

問 マンホールトイレの今後の設置計画は。

防災交通課長 避難所の建て替えや改修工事の際には設置を検討する。

問 鵜沢地域にはトイレの設置がない。設置要望の対応は。

防災交通課長 避難所など関係する施設管理者と協議し検討していく。



増穂小体育館東側のマンホールトイレ



望月 眞 議員

問 新町民体育館建設の見通しは

答 6年度までには実施設計を行う

問 新町民体育館建設の今後の見通しは。

町長 建設場所は幹線道路沿いであること、洪水ハザードマップの浸水区域外であること、町有地が使えることを踏まえ、増穂中学校跡地に決定した。町民体育館建設基本計画検討委員会を再開・検討し、令和4年度中には基本計画の策定、5年度中には基本設計を、合併推進債活用期限の6年度には実施設計を行う。

問 建設規模の見直しは。
教育長 既存の増穂中学校体育館利用も踏まえ、改めて検討委員会で見直しを行う。

問 避難所機能の充実は。
町長 平成28年の検討委員会報告にも避難所機能の必要性が盛り込まれた。再開後の検討委員に、災害ボランティア・防災士・障がい者相談員の方々を選任しているので、ご意見を伺いながら、避難所機能の充実を図っていく。

問 建設費の見直しは。

町長 用地取得費が必要ないことや規模を縮小することで、当初より大幅な建設費の削減ができるのではないかと考える。合併推進債の活用で、建設費の45%は国の交付税措置がある。町負担分については、JRからの補償金及び県のリニア振興資金も充当できることから、町の負担も縮小できると考えている。

小中学校の教育環境整備について

問 増穂商業高校校舎の改修計画は。

教育長 新中学校については、増穂商業高校跡地と校舎3棟・屋内運動場・格技場・弓道場・屋外施設などを活用し、令和5年4月開校を目指して準備を進めている。校舎は施設部会で検討し、利用しやすいように教室を再配置するとともに、内外装の補修、トイレの増設と改修、給食配置用エレベーターの設置などを計画している。屋内運動場につ



改修予定の増穂商業高校校舎内

いてはアリーナ床改修を行っていることから、現時点での大規模改修は必要ないと考えている。

問 現時点における新校舎建設計画は。

町長 土地取得と改修については、合併推進債を活用して

いく。新中学校として、いずれは校舎などを新築していかねばならない。その際には、義務教育施設整備費補助金や義務教育施設整備を活用していく。10年から15年ぐらいいの間に校舎や体育館、テニスコートなどを新設していきたい。



青柳 光仁 議員

問 ▶ プレミアム商品券の 販売確認は

答 ▶ 購入者の自己申告 により行った

問 プレミアム商品券で1人2冊販売の確認方法は、産業振興課長 販売時の確認方法は、購入者の自己申告により行った。

問 商工会に対し、販売事務の協定書などにより、どのようなことを指示したのか。産業振興課長 契約書には明示していないが、打ち合わせの際に、自己申告と家族数以上の購入は断るよう指示をした。

問 町外から富士川町に在勤の方も購入できるが、町内在勤者の確認方法は、産業振興課長 購入は自己申告としたので、資料等の確認はしていない。

問 事業実施要綱に、ただし書きで「繰り返し購入することを妨げない」とある。商工会と町民に周知したのか。産業振興課長 事務処理上の誤りがあり、要綱と周知の内容に相違があった。世帯人数×2冊を限度として知らせた。

繰り返し購入を妨げないとしたのは、家族数を一度に購入できない場合の条項である。

問 町外の人が何人も購入し、町民で買えなかった人もいる。当初目的の経済効果は達成できるが、町民生活支援は、大きく阻害された。当町在勤者の確認資料は、産業振興課長 販売は自己申告なので資料確認は考えない。

問 コロナ終息が見えない中、今後も同様な計画は、産業振興課長 現状商品券の支給、販売は考えていない。

問 最近、他の市町では支援事業が行われている。販売でなく、支援事業の計画はあるか。町長 先般のプレミアム商品券同様の事

業を、他町は今やっている。疲弊している事業者への支援はこれから考える。



町民支援のプレミアム商品券

指定管理ほか契約 について

問 まほらの湯の令和3年度協定書には6年間の累積赤字を解消するような条項になっている。他の指定管理者にもこの条項を入れるのか。政策秘書課長 指定管理施設は6施設あり、5施設に指定管理料を支払っている。協定内容の変更の申し出があった場合は、その都度協議する。

問 ブルーアースにも指定管理料支払いの条項はないが。政策秘書課長 ブルーアースのみ指定管理料の設定はしていない。

問 管理運営契約した青柳宿追分館は、都市公園のため、公園使用料を徴収していると聞く。開業が遅れているので使用料減免はできないか。都市整備課長 条例により、減免対象にならない。



秋山 仁 議員

問 戸川上流の危険箇所把握は

答 危険箇所は7箇所

問 戸川上流の危険箇所の把握は。土木整備課長 7箇所の危険箇所があり、戸川本流へ流れ込む支流が17箇所ある。危険箇所は県が年間通し河川巡視しており、定期的に実施している点検で情報を町に提供してくれる。

問 老朽化した堰堤えんていの損傷や砂防堰堤の強化が必要では。土木整備課長 県に堰堤などの機能を守るための河川浚渫しゅんせつ工事や樹木の伐採の要望をしている。

問 砂防ボランティアの増員の要望をすべきでは。土木整備課長 任意団体なので、人数を増やしてほしいとは言えない。

文化財保護について

問 文化財保存活用地域計画の促進計画を考えているか。生涯学習課長 重要文化財の件数も少なく、地域計画の作

成は行わず当町の規模に応じた、文化財の散逸防止や保存活用に努める。

問 現状の保存活用策は。生涯学習課長 文化財周遊マップの作成や、町民を対象とした文化財講座を開催している。

通学路の安全対策は

問 国から通学路の危険箇所の調査依頼があるが安全対策の進ちよく状況は。教育総務課長 学校、鵜沢警察署、峡南建設事務所と町担当課で、通学路の安全点検を実施した。今後も危険箇所の安全対策を検討する。

問 国の調査を踏まえ、危険箇所の把握をどこまでしているか。教育総務課長 増穂小管内21箇所、増穂南小管内4箇所、鵜沢小管内6箇所の報告があった。現況を確認、把握し、学校や警察署、道路管理者などと情報の共有を図っている。

問 大型車の進入が多い箇所、「ヒヤリハット」の事例箇所、地域住民からの改善箇所の点検結果は。教育総務課長 特に増穂小西側ウエスタンラインと県道の交差点は警察署より、一日の交通量からして信号機を設置することは難しいと聞いた。



安全対策が望まれる交差点

問 児童の横断には十分左右を確認するよう指導している。

問 グリーンゾーンの補修や道路の白線が、見えにくいと聞くが。防災交通課長 状況を調査、確認し摩耗が著しい部分などは補修していく。

問 国から通学路の危険箇所の調査依頼があるが安全対策の進ちよく状況は。教育総務課長 学校、鵜沢警察署、峡南建設事務所と町担当課で、通学路の安全点検を実施した。今後も危険箇所の安全対策を検討する。



小林有紀子 議員

問 SDGs 促進の 取り組みは

答 総合計画などの マッチングを行う

問 SDGs 促進のため職員の中でチームを立ち上げ研修を行う考えは。

答 政策秘書課長 今後、既存の委員会もしくは新たな推進チームを発足し、研修会などでSDGsの考え方を学んだ職員が中心となって推進を図っていく。さらに全職員を対象とした研修会を開催し推進する。

問 庁舎内に目で見えてわかるようマークの掲示は。

答 政策秘書課長 全庁体制での取り組みとして、新庁舎へSDGsのカラーホイールや「日本モデル」宣言ボードの掲示をすることを検討していく。

マイナンバーカード と電子マネーの取り 組みは

問 甲府市が本年7月からスタートした「こうふマイナポイント」はマイナンバーカードを活用し「健康とエコと消費防団」のチャレンジメニューに参加するとポイントがたま

り市内店舗で買い物をする際に電子マネーで支払うと、ためたポイントのうち利用額分が電子マネーで還元される仕組み。このような地域活性化策の実施は。

答 政策秘書課長 今後、町内店舗の電子マネー導入状況を見

ながら判断したい。

学校ウエディング 出前授業は

問 ブライダルに関する職業体験や模擬結婚式を行う学校ウエディング事業の実施は。



研修でSDGsへの理解を深める

教育総務課長 新中学校に向けた交流学习として、令和4年度実施に向けて検討したい。

フェーズフリーの 防災対策は

問 日常時と非常時というフェーズをなくすフェーズフリーの概念を取り入れた災害への備えは。

答 防災交通課長 先進自治体の取り組みを研究し普及・啓発に努めたい。

問 「浸水想定深」の看板設置についての進捗状況は。

答 防災交通課長 改めて地域の皆さまに、看板設置の意向をお伺いし、合意が得られるのであれば、設置を検討する。

問 町独自の「防災ハンドブック」の作成は。

答 防災交通課長 防災ハンドブックと同様に活用してもらえよう、町広報誌で保存版の防災特集を企画したい。

わが区の自慢!!

●このコーナーでは、各区の誇れるもの、活動などを紹介していきます。

小林区

まほらの郷鷹座巢
小林八幡太鼓

～みんな元気に みんなを笑顔に～

小林区には、和太鼓グループ「まほらの郷鷹座巢 小林八幡太鼓」があります。子どもも大人も一丸となって打ち込む姿と太鼓の響きは私たち区民を元気にしてくれます。

祭りで小中学校が「小林八幡」の曲を鷹座巢の皆さんと一緒に演奏するようになって10年以上になります。近所の子どもの元気いっぱいの演奏に拍手喝采、笑顔が広がります。

初めての挑戦で、祭り前の3回の太鼓教室で何とか打てるようになった子ども、毎年参加の常連の子ども晴れ晴れとした笑顔で応えます。

「まほらの郷鷹座巢小林八幡太鼓」の前身は、「小林和太鼓愛好会」です。平成11年に青少年の健全育成と町の活性化を目的として発足しました。区を中心に区民の後援会を立ち上げ、活動を支援してきました。当時は、太鼓連盟の支援指導を受けながら、先ず

は大人たちが、そして子どもたちと共に活動を広げていきました。

平成18年に、地区で打ち継がれてきたリズムを基に作曲した「小林八幡」を神社に奉納し、改名しました。ジュニアチーム「鷹座巢鼓組」も誕生し、小中学生で演奏する曲もあります。

メンバーは入れ替わりながらも、22年間ずっと小林区に根付いた活動を続けています。



道の駅富士川7周年記念イベントにて

区の概要

人口 1,143人 男 570人 女 573人
世帯数 451戸
(令和3年10月1日現在)

五開区

「お天神さん」の
愛称で親しまれる

～地域の歴史的な資産 吹上天神社～

わが地元で、「お天神さん」と呼ばれている吹上天神社の社は、標高が約700mほどの山中旧増穂町との境に位置しています。例年、4月25日に祭典を行っていましたが、近年では諸般の事情から直近の日曜日に行っています。

甲斐国志によれば、創建年月不詳ながら、「天神宮 鳥居村、社地拾拾坪、北方西郡筋高下界ノ山上ニ在リ吹上天神ト称シテ登拜ノ者多シ、三月二十五日ニ祭ル」とされています。(山梨県神社庁HPより写真も含む)

吹上天神社の由来について、代々引き継がれている資料には次のように記されています。

「神代の少名彦命と第60代醍醐天皇右大臣菅原道真朝臣を祀っております。文化4年(1807年)の火災により関係書類が悉く焼失してしまい詳細が判明しないが、残存の史実によれば、新羅三郎義光甲斐守に御補任なされ、その節十谷の奥源氏ヶ嶽に岩を築き籠られたとき、国家鎮護、武運祈願のため、吹上字夫婦石を清地として奉ったのです。(中略) 武田家

武運長久・子孫繁栄を祈願したのです。その後、その子刑部三郎が虫の病に罹って苦しまれたとき、之を速やかに平癒するよう祈願したところ、日ならずして全く癒え給いたる結果、益々信仰心を深められ、社殿造営及び祭祀料をも献納し厚く崇敬し奉ったのです。その後、武田、加賀美、小笠原、南部、下山氏さらには徳川家からも寄附せられ、その神徳の広大なるを仰ぎ毎年の例祭には四方の諸人が群れをなし、長い参道も参拝者の列で連なる盛況でありました。」

近年まで、学力向上・受験合格・交通安全などの祈願者で賑わった「お天神さん」も過疎化に伴い、訪れる人も少なくなりました。



往時が偲ばれる天神社参道

区の概要

人口 230人 男 112人 女 118人
世帯数 116戸
(令和3年10月1日現在)